

学校だより

【第2号】令和6年7月16日発行

<群馬県立しらがね特別支援学校通信>

中学部の授業の様子（社会見学）

中学部では、調べ学習や実際の工場を見学すること、工場の方の話を聞くことを通して、地域の産業に興味をもったり、働くことの大切さや働く上で必要なことなどを知ったりすることをねらいとして、社会見学を計画・実施しています。本年度は、粉末スープや乾燥具材の充填包装などを行っている「株式会社松本パック」へ、5月24日（金）に出かけてきました。当日は、工場のマスクやエプロンをお借りして、手洗いや消毒、ゴミやほこりを落とす方法などを教えていただき、しっかり確認してから工場の見学をしました。食品を扱う仕事にとって、衛生面がとても大切であることを、体験を通して実感できたと思います。身支度を整えて、工場の機械や製品を触らない、静かに見学するなど、約束を守って、見学ができました。スーパーなどでよく目にする味噌汁やスープなどができあがっていくまでの工程で、機械の動きや働く人たちの様子に、どの生徒も興味深そうに目を向けて見学をしていました。



中学部の授業の様子（第1回校内就業体験）

6月3日（月）から7日（金）の5日間、第1回校内就業体験を実施しました。中学部の重点目標を、より意識して就業体験に取り組み、将来の職業生活につなげてほしいと考え、事前学習において生徒に丁寧に説明しました。就業体験中は、毎日目標を確認し、作業後の振り返る時間を設けながら取り組みました。1年生にとっては初めての就業体験でしたが、2・3年生がよい手本となり、どの学年も頑張っていました。

【作業室での委託作業】

Vバネやランジェリーピンチの組立、Tピンの色分け作業などに取り組みました。



【農作業】

月曜日と水曜日の午後は、作業種を変えて農場でのサツマイモの苗植えに取り組みました。畝作りや除草、苗植えの作業を頑張りました。



高等部の授業の様子（第1回就業体験）

5月27日（月）から6月7日（金）まで第1回就業体験が行われました。1年生は校内、2、3年生は校内や校外での就業体験を行いました。1年生は初めての就業体験で緊張しながらの作業となりました。2週間続けて作業学習を行うということで体力的にも気持ちの上でも大変な2週間だったと思いますが、2週間やりきったことで大きく成長することができたと感じています。また2、3年生は校外での就業体験にチャレンジする生徒も多く、それぞれの事業所の仕事を頑張りました。この就業体験での成果や課題を今後の学校生活や次回の就業体験に生かしてほしいと思います。



高等部の授業の様子（情報モラル講習会）

7月1日（月）A課程の生徒を中心に情報モラル講習会が行われました。前橋東警察署の方を講師としてお招きし、インターネットの正しい使い方について学びました。サイバーセキュリティについて、ネットの問題の理解、インターネットの活用（覚えてほしいルール）などについて身近な事例を挙げ、具体的に説明していただきました。「高額収入という言葉は危険」「一人で悩まず相談」「ルールを守って使用する」など正しい向き合い方を意識し、安全に使ってほしいというお話しをしていただきました。

